

◇公民館

長沼町公民館 館長 大河原 清

施設設備の充実につとめ地域課題に対して館長、主事一体となり、民主活動を積極的に継続し、生活の技術や運営に創意を高めるよう努め、その実績が極めて顕著である。

◇青年会

東白川郡矢祭村 支部長 松本 一郎
青年会若荷支部

会員相互の協力によって図書館をつくり、その維持、管理、図書の購入など自主的に経営し、学習を中心とした団体活動を行っている。

石川郡石川町 団長 相楽 茂勝
野木沢青年団

公民館と協力して、地域社会の実態調査に着手し新しい村づくりをめざして、生活学習、生産学習を展開している。

南会津郡伊南村 団長 金田 伝三
伊南青年団

婦人会、農協と協力して生活改善、生産活動を推進し、水道の完成、ナメコの罐詰、瓶詰などに多大の成果をあげている。

◇婦人会

福島市 会長 遊佐 ヨツ
笹谷婦人会

小集団活動を重点的にとりあげ民主的な婦人会運営に努力し、会員のグループ学習の中から若い主婦たちの学習の場も、うみだしている。

西白河郡西郷村 会長 添田 愛子
羽田婦人会

旧村を5つの独立婦会にわけている。その1つであり、自主的に運営を行っている。また食生活改善のモデル地区として、全婦人が強力に実践している。

◇PTA

会津若松市 会長 新城渚之助
日新小学校PTA

町内PTAをつくり、子どもの世話を活発に行っている外、母親読書会、学校教育設備等に積極的に参加している。

勿来市川部中学校 会長 小野 弥久
父母と教師の会

成人教育に重点をおき、地域公民館、各種団体との連携をとって教育環境の醸成に努めている。

磐城女子高等学校 会長 山崎 賢助
PTA

父母教師一体となって、生徒の学習向上、体育の奨励、生活指導に全力をつくし、この功績が大きい。

b 第11回福島県文学賞

県文学賞 小説(一枚の板) 長嶋恒義
短歌(自然律) 服部童村
俳句(驕子句集) 遠藤徳重

準賞 詩(若い青年) 川唐 上春 雄
短歌(求道) 唐野 橋秀 子
俳句(胡桃抄) 野渡 梅柳 梅
虚栄の歌) 岑 伸 春六
奨励賞 小説(天井敷敷) 岩野 喜三郎
虚しい人々) 佐藤 佑一
結婚記念日) 藤田 俊夫
詩(昇天祭) 本村 幸一
童子記) 野井 雄男
短歌(颯獲りの歌) 角 昭
青少年文学奨励賞 小説(秋雨) 佐藤 三恵子
短歌(急流) 角 昭

c 文化功労賞

第7回福島県文化功労賞

・矢部保太郎(須賀川市字西3丁目7)

略歴 明治15年4月4日岩瀬市長沼町に生る。当年76才。俳誌「桔梗」を大正11年6月に創刊、誌令400号に達す。須賀川の生んだ俳聖市原多代女全集を編し、目下印刷中。日本俳文会員。

郷土の人物研究、史学会員として各種の研究会展覧会等を開催、現在須賀川史学会会長。須賀川市図書館長ならびに公民館長として社会教育に尽力した。

・二瓶 清(喜多方市関柴町上高額)

略歴 明治16年8月18日関柴村の現在地に生る。当年75才、大正14年新井氏とともに喜多方史談会をおこし「北陽史談」を発行その主幹となる(昭和17年中止)。明治42年頃から考古学を学び、会津地方の遺跡を探訪し「日本石器時代遺跡発見地名表」の会津の部は大部分氏の報告による。

考古資料、古美術品、古書類を収集し、自宅を開放して参観に供している、目下有志の間に「二瓶記念館」設置の儀がある。

昭和10年頃から国宝等の下調べ資料作製に従事し昭和31年12月より福島県史跡名勝天然記念物、国宝および重要美術品調査委員となる。現在県文化財専門委員として同会議議長である。

d 特別功労賞

・(故)宮内富貴夫

略歴 明治40年3月25日長野県更級郡稲荷町生。小学校5年頃より考古資料に興味をもち、以来40年蒐集されたものは33,540点におよび、昭和24年所蔵の資料は建物78坪を建築して、これを「南奥文化博物館」と名付けて一般に公開した。現在福島市に無償で寄贈し、福島市児童館に保管され、一般に公開されている考古学資料600点。

B 学校教育関係表彰

a 教育功労者

福島第一小学校長 青木 喜八郎
保原中学校長 和宇慶 良春
梁川小学校長 斎藤 一男
謹教小学校長 三橋 重